

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



神戸市市長室国際部国際課 島田 菜々子

未来につながる 2 年間

多文化主義を実地で学ぶ

私は、2016年4月から2年間、シドニー事務所に勤務いたしました。当初、はじめての海外赴任は、とても不安でした。しかし、オーストラリアは、住民の25%以上が外国にルーツを持つ移民から形成される多文化主義国家で、街中でも電車のなかでも、周りを見渡せば、アジア、ヨーロッパなど、たくさんの国の言語が行き交っています。私も、異なる文化や習慣を尊重し共存する社会のなかで、いつの間にか、多文化主義国家を形成する一員として、自然に社会に溶け込んでいったように思います。シドニー事務所では代々、オーストラリア連邦政府や州政府、地方自治体が行う多文化主義施策に関する調査研究を行い、日本の自治体の方々を対象にしたセミナーを開催しており、私も赴任初年度に企画・運営を担当させていただきました。多文化主義国家としての成功の裏側には、計画的な国家戦略や移民支援施策があり、その先進事例を実地で学ぶことができたのは大変貴重な経験でした。

日本は近くて身近な国

現地に赴任し、オーストラリアの人たちの日本に対する関心の高さを実感させられました。日本語を第二言語として学んだ親日・知日家も多く、また南半球にあるオーストラリアから見ると、飛行機で9時間程度で行ける日本は、ほかの国より「近い」観光地として大変人気です。各種日本関連イベントで日本の自治体のPRを行うなかで、ゴールデンルート以外の行先を探す方、体験型観光を求める方の声も多く、オーストラリアの人たちの日本に対する知識や関心の高さを知るとともに、改めて、自分自身も母国について学び知る機会となりました。

帰任後、神戸にて

現在は、神戸市市長室国際部国際課にて、オーストラリア・ブリスベン市との姉妹都市交流事業や在住外国人支援事業を主に担当しています。

ブリスベン市との姉妹都市交流事業については、シドニー事務所時代に何度も直接顔を合わせていた担当者の方と、今もスカイプ会議や日々のメールを通じて業務を行っています。また、日本でも外国人受入が拡大するなかで、オーストラリアにて学んだ多文化主義施策の知識は、神戸市に帰ってからも、活かされています。

最近、シドニー事務所時代にお世話になったブリスベン姉妹都市委員会の方や事務所の元現地調査員の方が、神戸の医療産業都市や酒蔵の視察に来られ、今度は神戸で再び一緒にお仕事をする機会を得ました。振り返ってみると、2年間の経験も人脈も、オーストラリアにいないとではえることが出来なかったもので、私の人生の宝物です。2年間で培ったつながりを大切に、今後も、神戸とオーストラリアとの関係をはじめ、国際化の発展に貢献していきたいです。



ブリスベン姉妹都市委員会会長の来神

プロフィール

- 現職：神戸市市長室国際部国際課
- クレア時代の所属：
 - 2015年4月～ 東京本部 JET プログラム事業部研修・カウンセリング課
 - 2016年4月～ シドニー事務所